



こうのうら はるさん 8歳
 わたしのしょう来の夢は、「うちゅうひこうし」になることです。
 なぜうちゅうひこうしになりたいかという、うちゅうのはしっこってあるのかなぁ。みんながまだ見つけていない星、わく星ってあるのかなぁ。ときもんに思ったからです。わたしは、そのぎもんを元にして、うちゅうが好きになりました。だから天体ぼうえんきょうももっています。
 ということで、いま書くとおり、「わたしはうちゅうのことが大好き」です。だからうちゅうひこうしがわたしのしょう来の夢です。わたしは、天体ぼうえんきょうをのぞいて、月がうごいているのが見えたので、地球ってまわってるんだなぁと思いました。



なかくら あまねさん 5歳
 わたしは、やーやん（お父さん）みたいに、しゃしんをとるひとになりたいです。そしたら、やーやんといっしょにどこにでもいけるからです。タイやブータンにもいっしょにいきたいな。

◀ワークショップに参加した子どもたち

撮影 写真家 中倉壮志朗(佐世保市) 島瀬美術センター ☎22-7213
 ※このワークショップは「写真家 石元泰博」展覧会の関連で開催したもので、本年度に同様のものを開催する予定はありません。

島瀬美術センター主催ワークショップ

こども未来写真館

「パン屋さんになりたい」「看護師さんになりたい」「アイドルになりたい」など、子どもたちは自分の将来について、いろいろな夢を持っています。11月10日(土)、島瀬美術センターが主催したワークショップ「こども未来写真館」では、そんな子どもたちの夢を段ボール紙で形にしてもらい、未来の自分の姿をプロの写真家に撮影してもらいました。約20人の子どもたちが参加した当日の様子と、「夢の作文」の一部をご紹介します。



よしだ けいじゅくん 5歳
 ぼくは、おおきくなったら、つよくて、かっこいいウルトラマンになりたいです。いまよりもっとつよくなって、ちいさいこどもやみんなをまもりたいです。